



1. 環境の保護に係わる教育
  - ペットボトルキャップ回収
  - 学校祭での東日本大震災についてのパネル展示
  - 通学路ごみ拾い
  - 異校種連携事業における発表活動
2. 異文化理解に係わる教育
  - 楽器、文具、絵本などを海外の子供たちへ送る活動
  - 短期留学生の受け入れ
  - 「総合的な学習の時間」における時事問題研究グループ学習
3. 福祉に係わる教育
  - 児童館への訪問と学童との交流
  - 認定こども園の行事の運営補助
  - 特別支援学校の生徒との交流、行事の運営補助
  - 障がい者施設への訪問と体験活動
  - 社会福祉協議会「ふれあいまつり」の運営補助
  - 赤い羽根共同募金運動の街頭募金
4. 平和学習
  - 「朝学習」での NIE・ニュース研究
  - 見学旅行事前平和学習
  - 見学旅行での被爆地への訪問
5. 郷土の自然や文化に係わる学習
  - ふるさと学講演会（遠軽町白滝ジオパーク講師による歴史・環境科学的講演）
  - コスモス園除草ボランティア（1 年次全生徒が町コスモス園にて実施。）
  - 湧別原野オホーツククロスカントリー大会運営補助
  - 学校設定科目「オホーツク風土研究」の実施



ペットボトルキャップ回収・選別



時事問題研究グループ学習



児童館お楽しみ会運営補助



クロカンスキー大会運営補助

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(休業日の地域行事に参加)	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

白滝ジオパークウェブサイト <http://engaru.jp/geo/>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では個の尊重と豊かな人間形成と心のふれあいを大切にする活動を推進し、生徒の主体性・創造性の育成を図る観点からも教育課程の編成・改善に努めている。

例として、学校設定科目「オホーツク風土研究」は時間割週時程に2時間分配している。また、「ふるさと学講演会」（遠軽町白滝ジオパーク職員を招聘して実施）は、「総合的な学習の時間」の授業として、全年次の年間計画に組み入れている。コスモス園除草ボランティアは、1年次の「総合的な学習の時間」でインターンシップ型学習として位置づけられている。主権者教育講座は2年次公民科の授業計画に組み入れている。さらに、授業アンケートを年2回実施し、学習指導方法の改善に活用している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

すべての教育活動を通して主体性の伸長を図り、異校種・地域・保護者との連携と相互理解を深めるために学校全体で教科授業・特別活動・課外活動の実践を進めている。各行事・各授業については、関係校務分掌で連携して計画・実施・反省・改善の取り組みを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価アンケートを毎年実施、PDCA サイクルで目に見える改善を目指して、中間反省会議・年度末反省会議を中心に問題点の確認と意見交換を行っている。各イベントの担当者が反省を生かし、次のイベントの関係者へと引き継ぐ努力がひきつづき必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

PTA だより、年次通信等の紙媒体の発行と配布、学校ホームページでの教育活動の報告・広報を行っている。また、インターアクトクラブによる地域ロータリークラブ例会での活動紹介を実施しており、今後の継続も求められている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

教務部のユネスコスクール担当者、生徒会・ボランティア部などの関係部局顧問が外部との協力・連携に努め、町役場、保健所、警察、社会福祉協議会等のイベント運営・企画に参画している。このことにより、地域と学校との結びつきが強まっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールの活動をテーマにした学校間交流は現在行っていないが、異校種連携事業、北見工業大学との連携を通して、アクティブラーニングに基づく学び合い・教え合いの「持続可能な」教育活動をひきつづき実施する。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

個々の活動に対する生徒の関心は高くなっており、行事ボランティアへの参加生徒数は増加している。ボランティア部員を中心とした奉仕活動にとどまらず、全校生徒による活動への理解・協力が広がっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

（通年の主な活動計画）  
「オホーツク風土研究」2 単位の授業計画（白滝方面巡検を含む）  
（前期 主な活動計画）  
社会福祉協議会「健康とふれあいの広場」運営参画  
短期留学生受け入れ  
障がい者施設運動会運営補助  
コスモス園除草ボランティア・インターンシップ  
警察との連携（犯罪防止・交通安全・啓発活動）  
（後期 主な活動計画）  
児童館イベント運営補助  
赤い羽根共同募金運動  
主権者教育講座  
人権擁護講座  
時事問題研究  
クロスカントリースキー大会運営補助